

県内の景気動向

概況（2026年4月）

景気は、緩やかに拡大している（32カ月連続）

消費関連では、スーパー売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、節約志向が継続しつつも旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、建設関連は、受注額の増加から手持ち工事額が増加傾向にあり回復の動きが強まっていること、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、力強く拡大していることなどから、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2カ月ぶりに前年を上回った。催事企画の中止などにより客数が減少したものの、新規ブランドの展開などで食料品が増加し、全体の売上高を押し上げた。スーパー売上高は、来店客数の増加がみられ、既存店、全店ベースともに8カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、観光需要の高まりでレンタカー登録台数が増加したことなどにより、2カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（3月）は、県の補助事業「おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン」などにより、3カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれ、緩やかな回復の動きが続くとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県、市町村は増加したものの、独立行政法人等・その他は減少したことから2カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（3月）は、居住用は減少したものの、非居住用は増加したことから3カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（3月）は、持家、分譲は減少したものの、貸家、給与住宅は増加したことから8カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、民間工事は減少したものの、公共工事は増加したことから6カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンともに10カ月連続で前年を下回った。鋼材売上高（速報値）は6カ月連続で前年を下回り、木材売上高は2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、資材価格の高止まりや人手不足、加えて中東情勢の影響などに注視する必要があるものの、公共工事・民間工事の受注増から手持ち工事額が増加し、回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、53カ月連続で前年を上回った。国内客は22カ月連続で増加し、外国客は悪天候によるクルーズ船の寄港中止などがあったことから43カ月ぶりに減少した。県内主要ホテル（速報値）は、稼働率は25カ月連続、売上高は23カ月連続、宿泊収入は3カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は50カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は7カ月連続で減少し、売上高は3カ月連続で前年を上回った。堅調な国内観光客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズンに向けた国内客の旅行需要も予想されることから、引き続き力強く拡大するとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 2.7%減となり 12 カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、卸売業・小売業や情報通信業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.12 倍で、前月より 0.04 ポイント上昇した。完全失業者数は 3 万 1,000 人で同 6.1%減となり、完全失業率（季調値）は 3.2%と、前月から 0.2 ポイント上昇した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 1.6%の上昇となり、56 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 1.9%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 2.6%の上昇となった。

倒産件数は 5 件で前年同月から 5 件減少した。負債総額は 1 億 6,100 万円で、前年同月比 69.9%減となった。

りゅうぎん調査（2026年4月）

増減率(%)

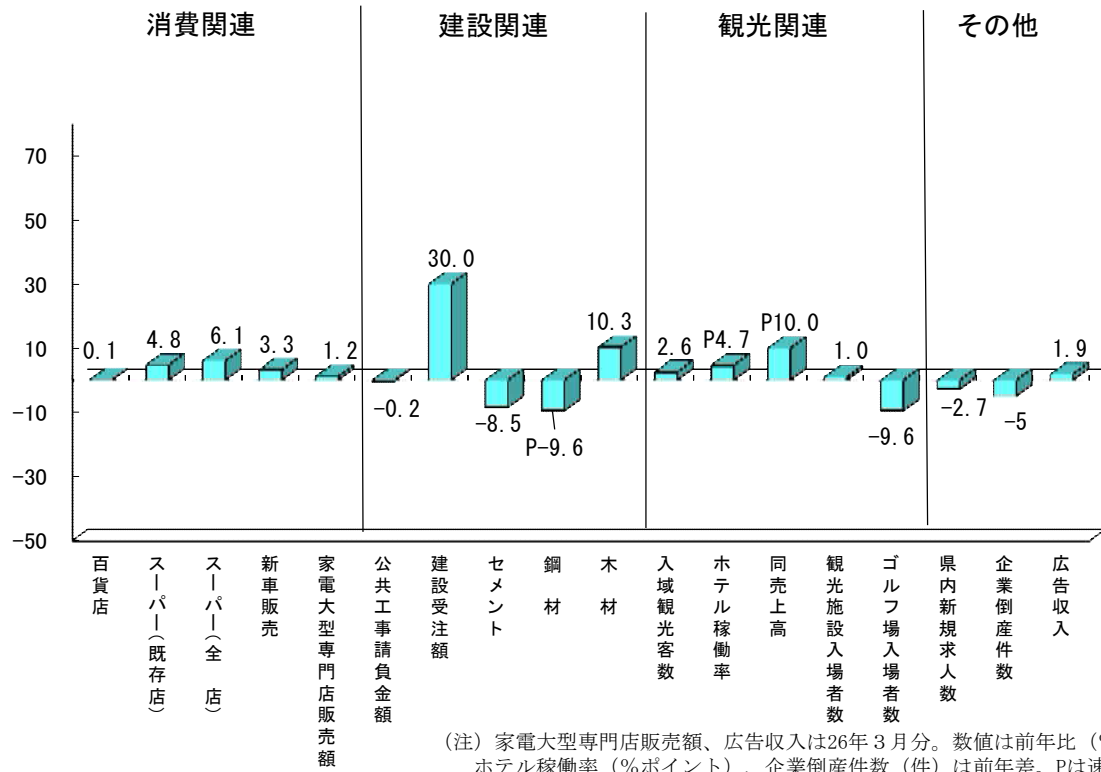
	前年同月比	前年同期比 (2026.2－2026.4)
1. 消費関連		
(1) 百貨店(金額)	0.1	▲ 0.4
(2) スーパー(既存店)(金額)	4.8	5.1
(3) スーパー(全店)(金額)	6.1	5.9
(4) 新車販売(台数)	3.3	▲ 0.8
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(3月) 1.2	(1-3月) 4.4
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額(金額)	▲ 0.2	24.8
(2) 建築着工床面積(m ²)	(3月) 41.8	(1-3月) 49.9
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(3月) 1.9	(1-3月) 20.2
(4) 建設受注額(金額)	30.0	88.8
(5) セメント(トン数)	▲ 8.5	▲ 9.5
(6) シメント(m ³)	▲ 12.3	▲ 11.9
(7) 鋼材(金額)	P ▲ 9.6	P ▲ 12.0
(8) 木材(金額)	10.3	5.3
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数(人数)	2.6	6.5
うち外国客数(人数)	▲ 0.6	13.5
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 4.7 (実数) P 71.2	(前年同期差) P 4.3 (実数) P 71.1
(3) " 売上高(金額)	P 10.0	P 10.3
(4) 観光施設入場者数(人数)	1.0	4.6
(5) ゴルフ場入場者数(人数)	▲ 9.6	P ▲ 6.7
(6) " 売上高(金額)	4.2	P 4.8
4. その他		
(1) 県内新規求人数(人数)	▲ 2.7	▲ 4.6
(2) 有効求人倍率(季調値)	1.12	1.10
(3) 消費者物価指数(総合)	1.6	1.4
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差) ▲ 5	(前年同期差) 7
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(3月) 1.9	(1-3月) 2.8

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

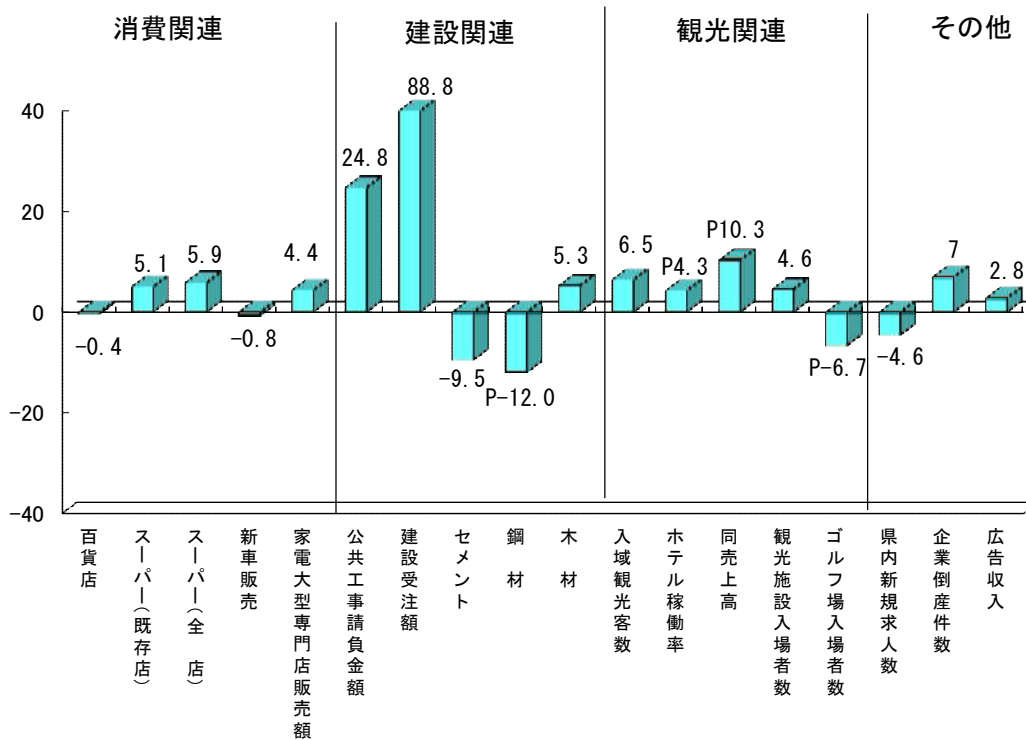
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2026年4月)

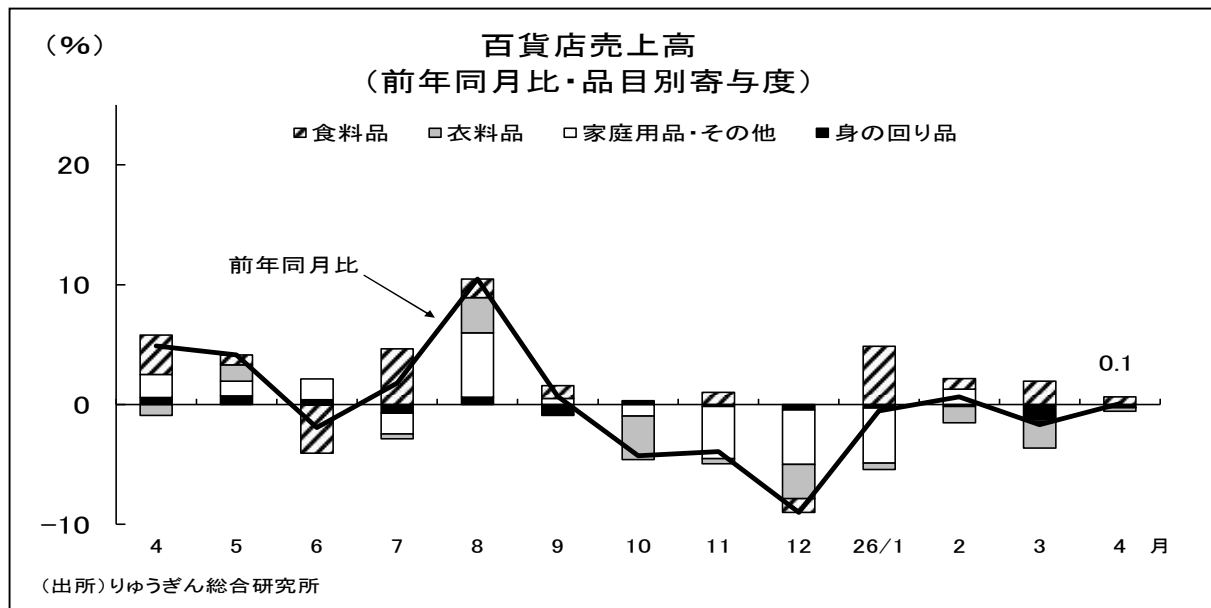


項目別グラフ(3カ月、2026年2月～2026年4月)



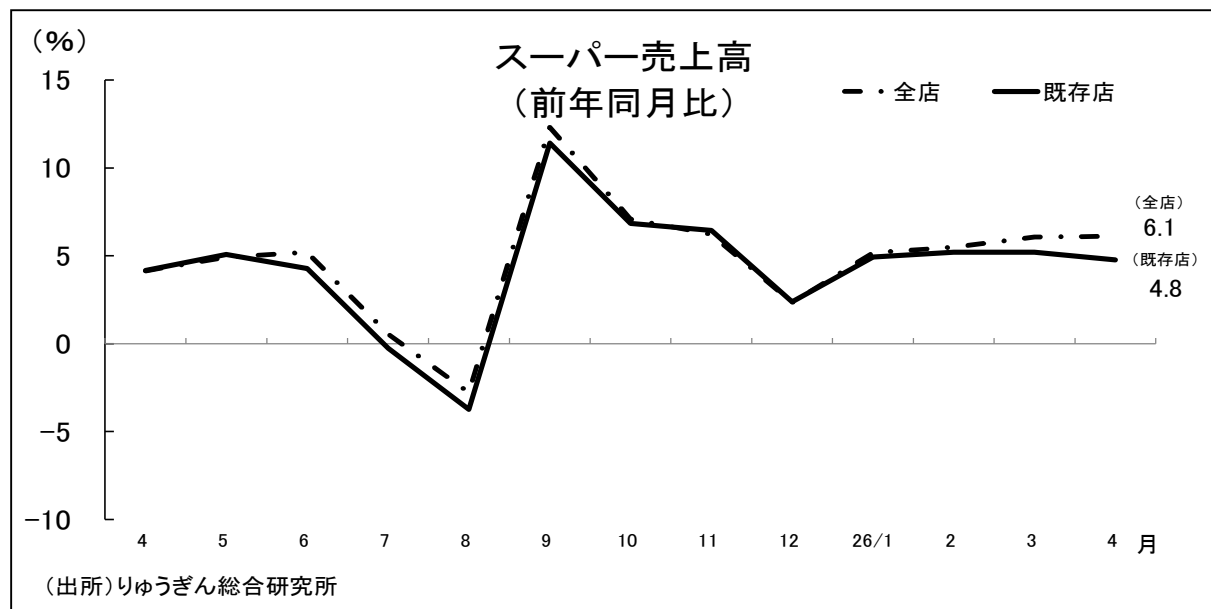
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月ぶりに増加



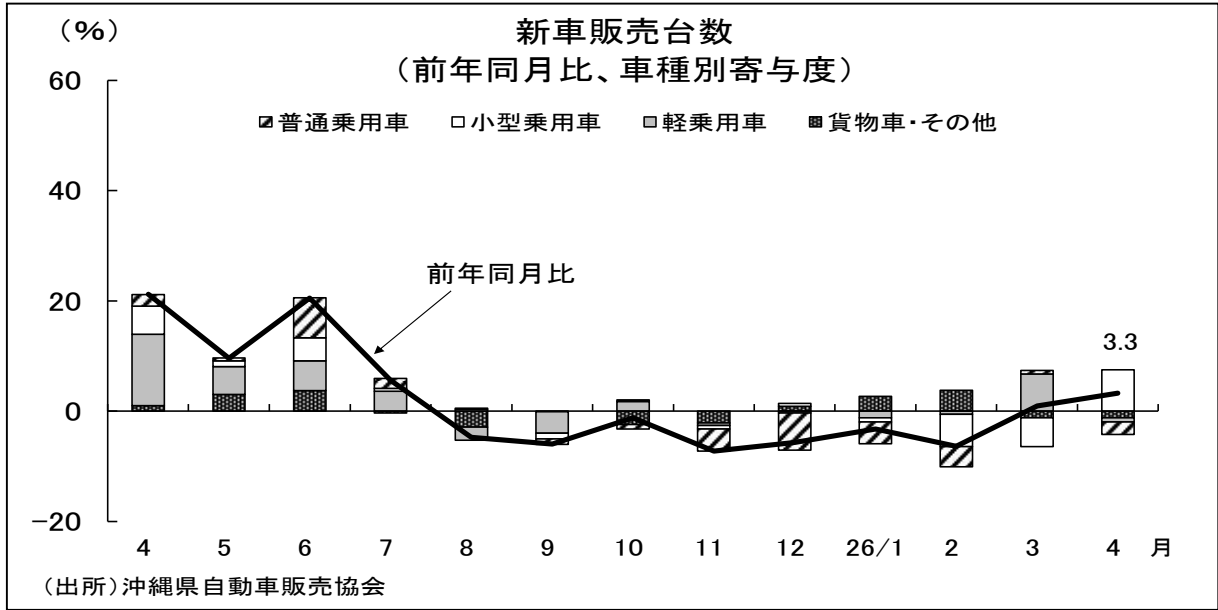
- 百貨店売上高は、前年同月比0.1%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 催事企画の中止や店舗エリアの一部返還に伴う売り場縮小などにより、客数が減少したものの、新規ブランドの展開や限定販売会の実施等で食料品が増加し、全体の売上高を押し上げた。
- 品目別にみると、食料品が同1.8%増、家庭用品その他が同0.1%減、衣料品が同1.0%減、身の回り品が同3.9%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店、全店ともに8カ月連続で増加



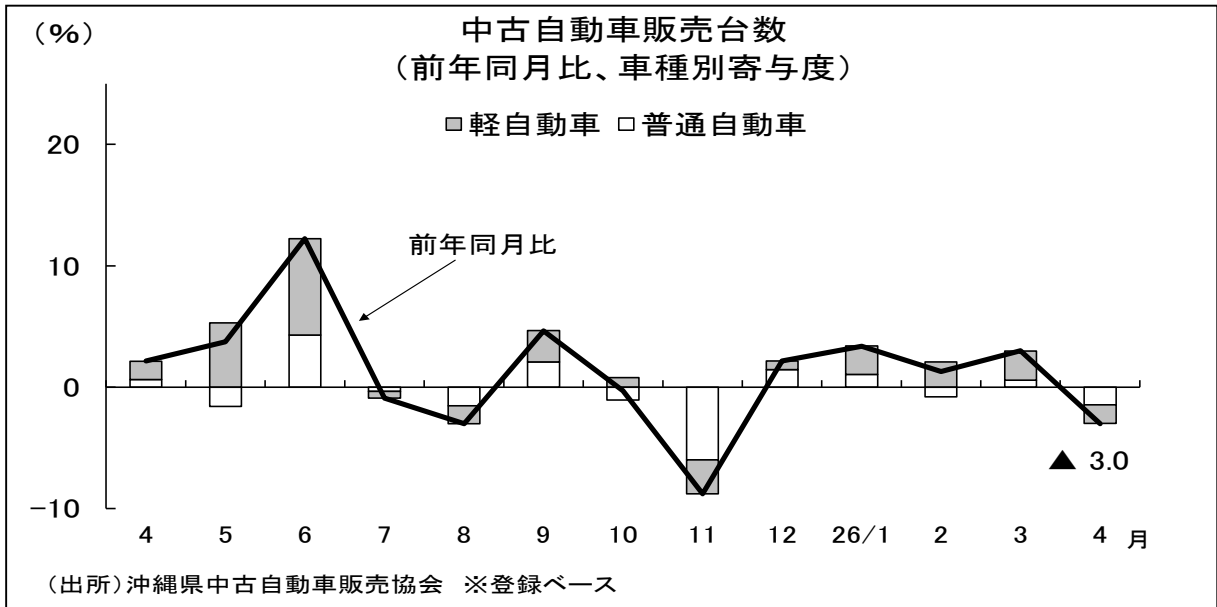
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比4.8%増と8カ月連続で前年を上回った。
- 来店客数の増加がみられ、引き続き好調に推移した。気温が高く推移したことで食料品、衣料品ともに季節商材が好調となり、食料品は同2.7%増、衣料品は同15.4%増、住居関連は同10.5%増となった。
- 全店ベースは、同6.1%増と8カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：2カ月連続で増加



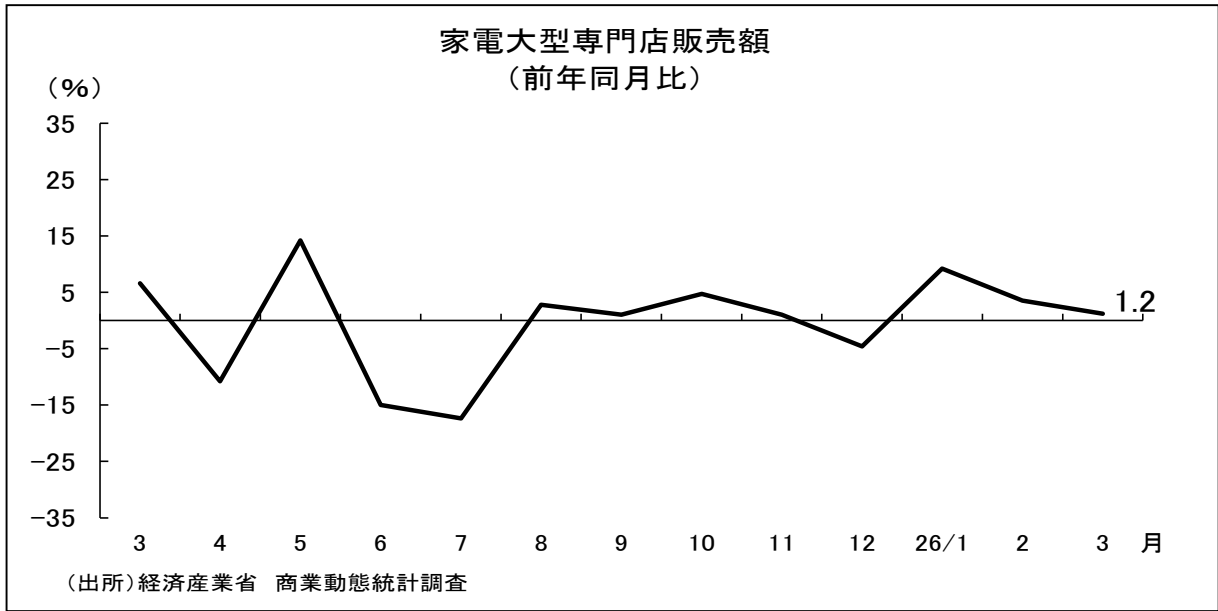
- ・ 新車販売台数は3,984台で、前年同月比3.3%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 観光需要の高まりでレンタカー登録台数が増加したことなどにより、前年を上回った。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は2,339台（前年同月比10.3%増）で、うち普通乗用車は862台（同9.3%減）、小型乗用車は1,306台（同28.4%増）であった。軽自動車（届出車）は1,645台（同5.3%減）で、うち軽乗用車は1,319台（同2.0%減）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：5カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万9,589台で前年同月比3.0%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,258台（前年同月比3.9%減）、軽自動車が1万2,331台（同2.5%減）となった。

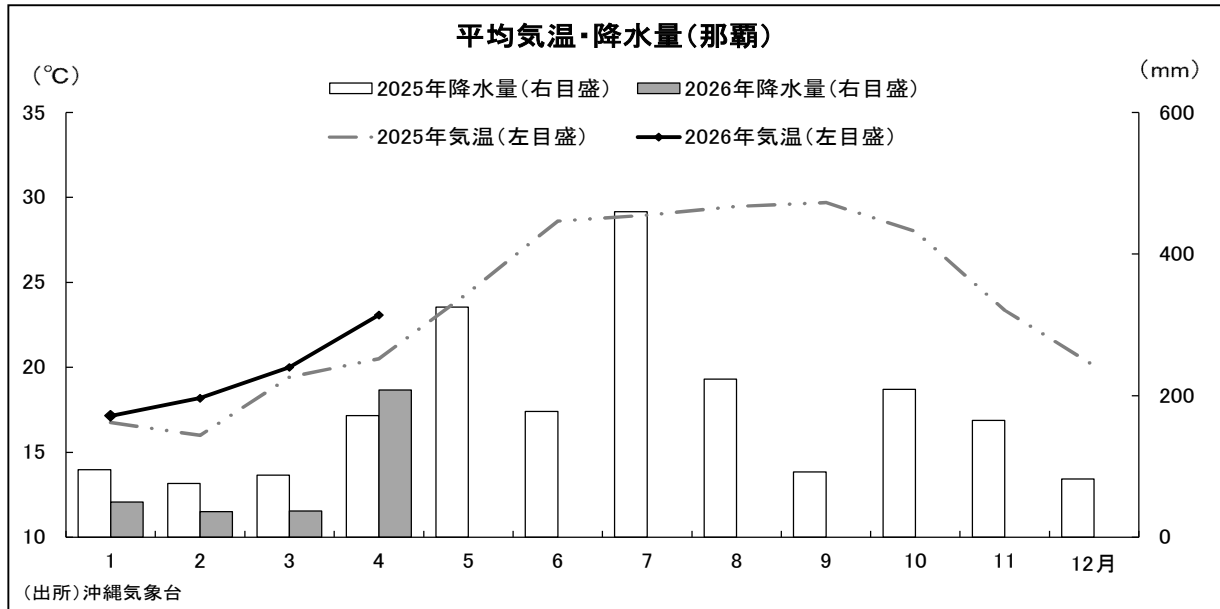
(5) 家電大型専門店販売額：3カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（3月）は、前年同月比1.2%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 3月より開始した県の補助事業「おきなわ省エネ家電購入応援キャンペーン」により、対象となるエアコンや冷蔵庫などの売上が増加した。

(参考)

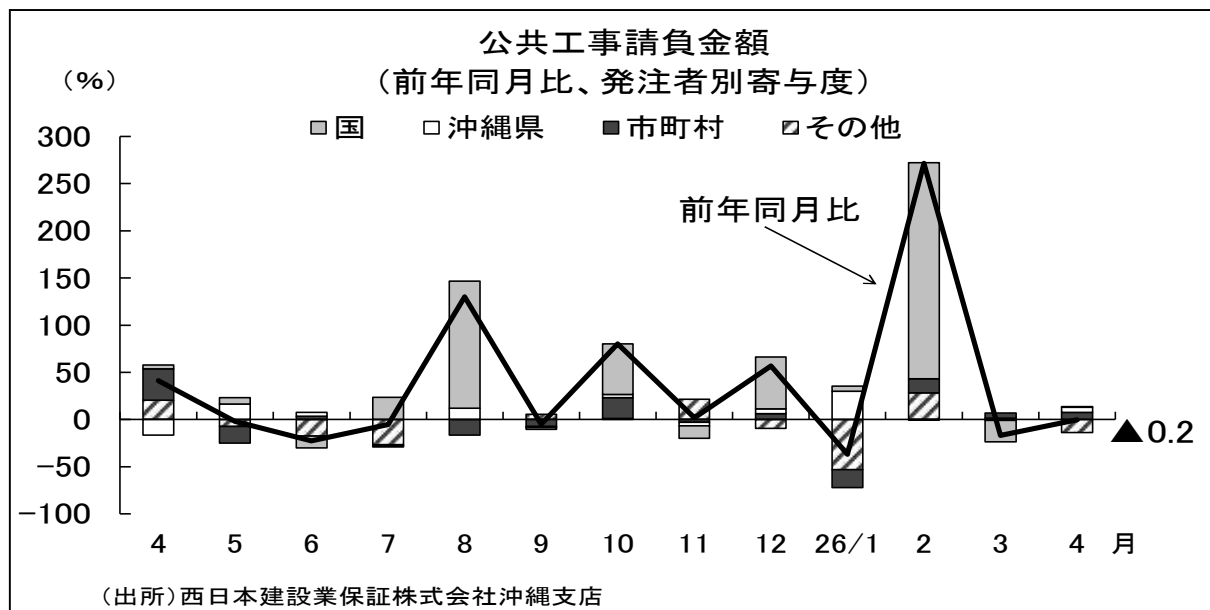
◇ 気象:平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は23.1°Cで前年同月(20.5°C)より高く、降水量は208.0mmで前年同月(172.0mm)より多かった。
- ・ 沖縄地方は、天気は数日の周期で変わり、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、前線や低気圧、湿った空気の影響で大雨や荒れた天気となった所もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり高く、降水量は平年並で、日照時間はかなり多かった。

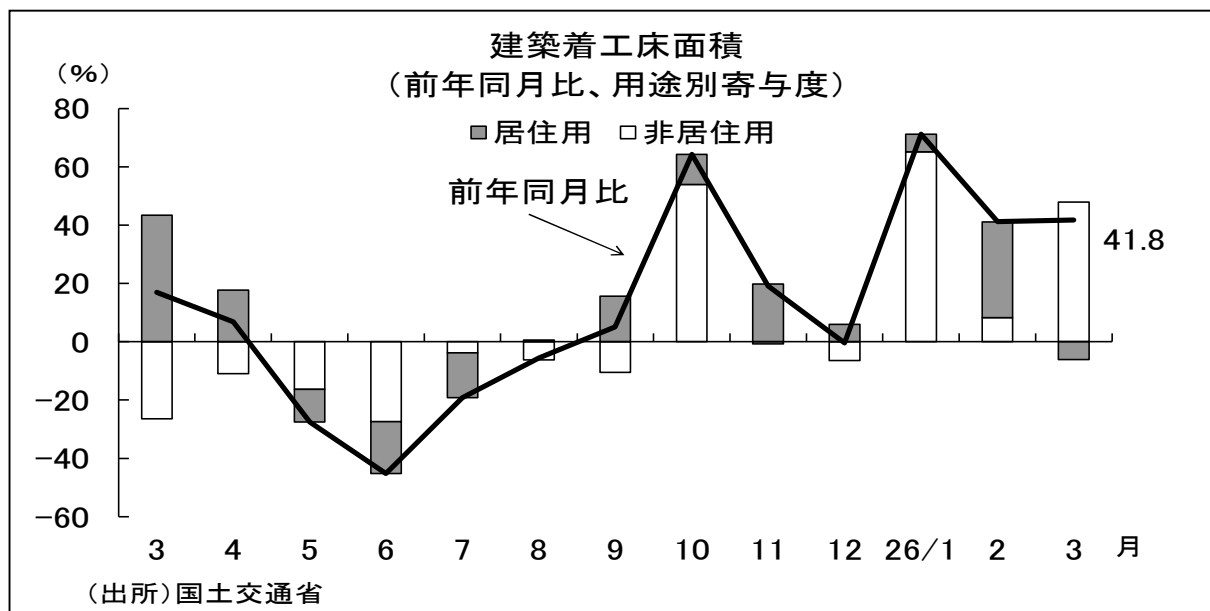
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：2カ月連続で減少



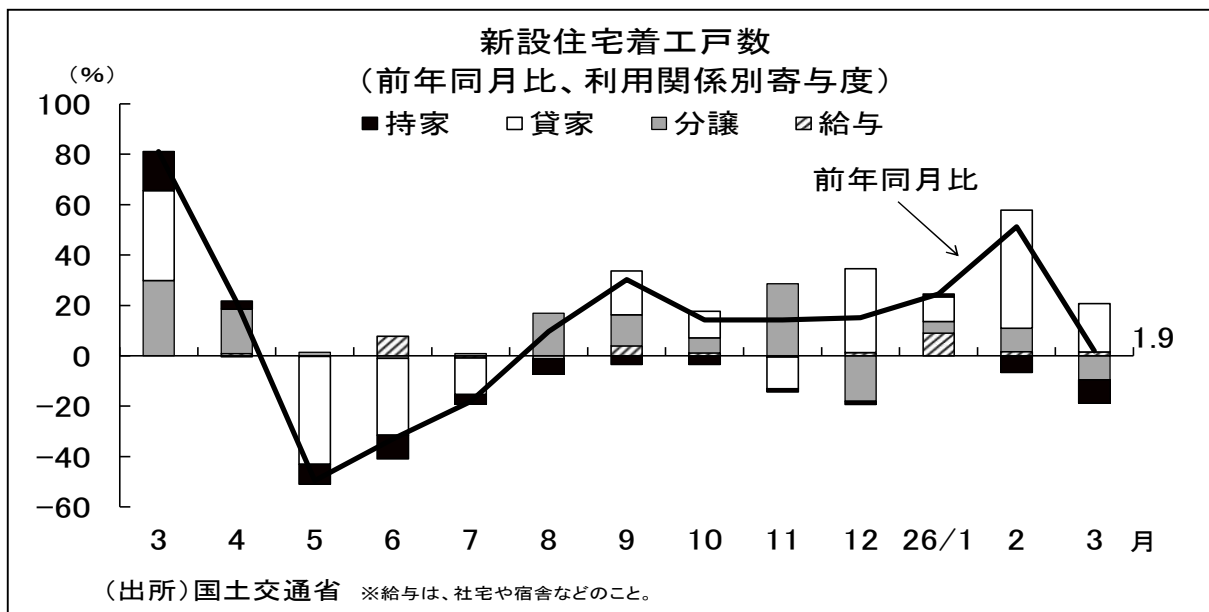
- 公共工事請負金額は、200億43百万円で前年同月比0.2%減となり、2カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、国は同7.2%増、県は同15.7%増、市町村は同20.6%増となり、独立行政法人等・その他は同72.6%減となった。

(2) 建築着工床面積：3カ月連続で増加



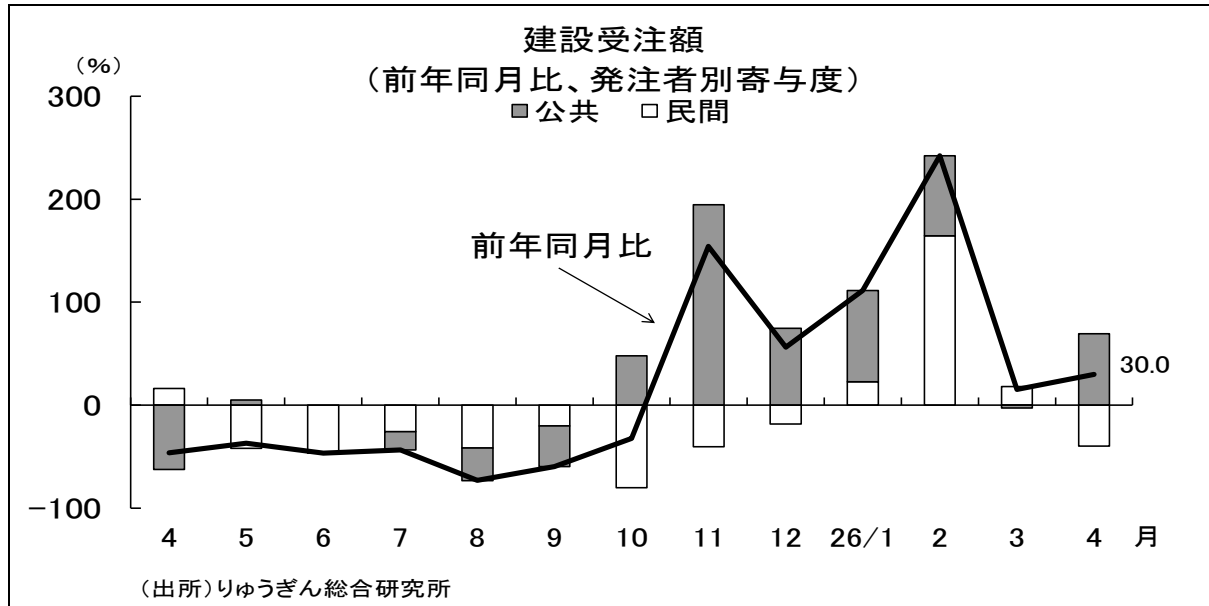
- 建築着工床面積（3月）は17万1,819㎡で前年同月比41.8%増と3カ月連続で前年を上回った。居住用は同7.5%減となり、非居住用は同248.6%増となった。
- 建築着工床面積を用途別（大分類）にみると、居住用では、居住専用、居住産業併用ともに減少した。非居住用では、製造業用、教育・学習支援業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：8カ月連続で増加



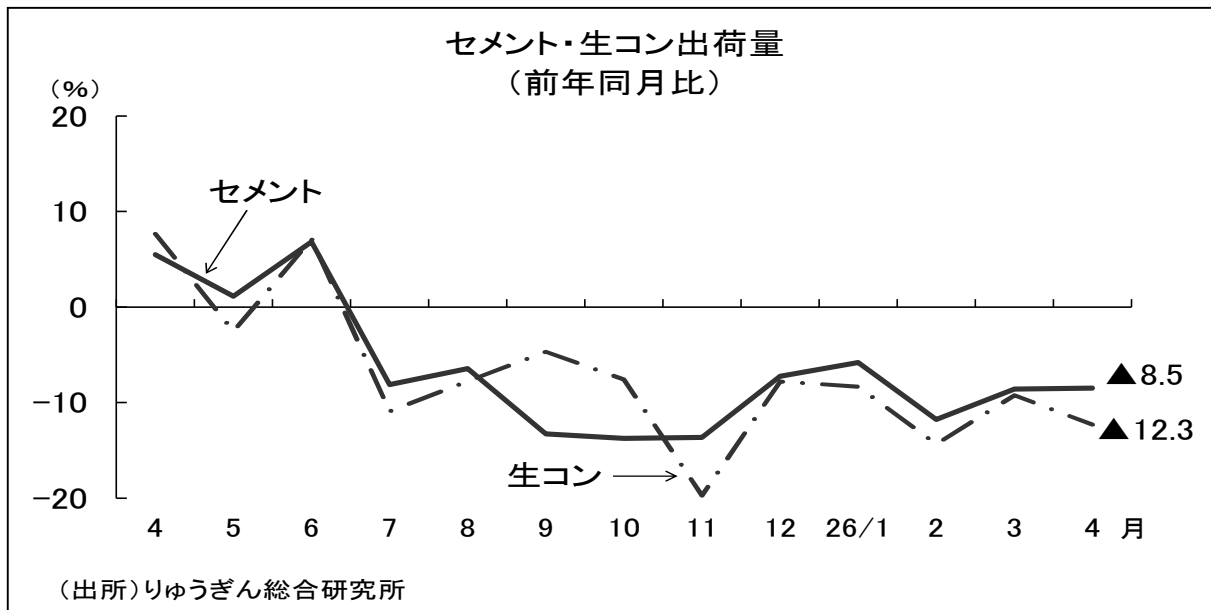
- ・ 新設住宅着工戸数（3月）は1,177戸で前年同月比1.9%増と8カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、貸家（732戸）が同43.5%増、給与住宅（17戸）が全増となり、持家（135戸）が同44.2%減、分譲（293戸）が同27.3%減となった。

(4) 建設受注額：6カ月連続で増加



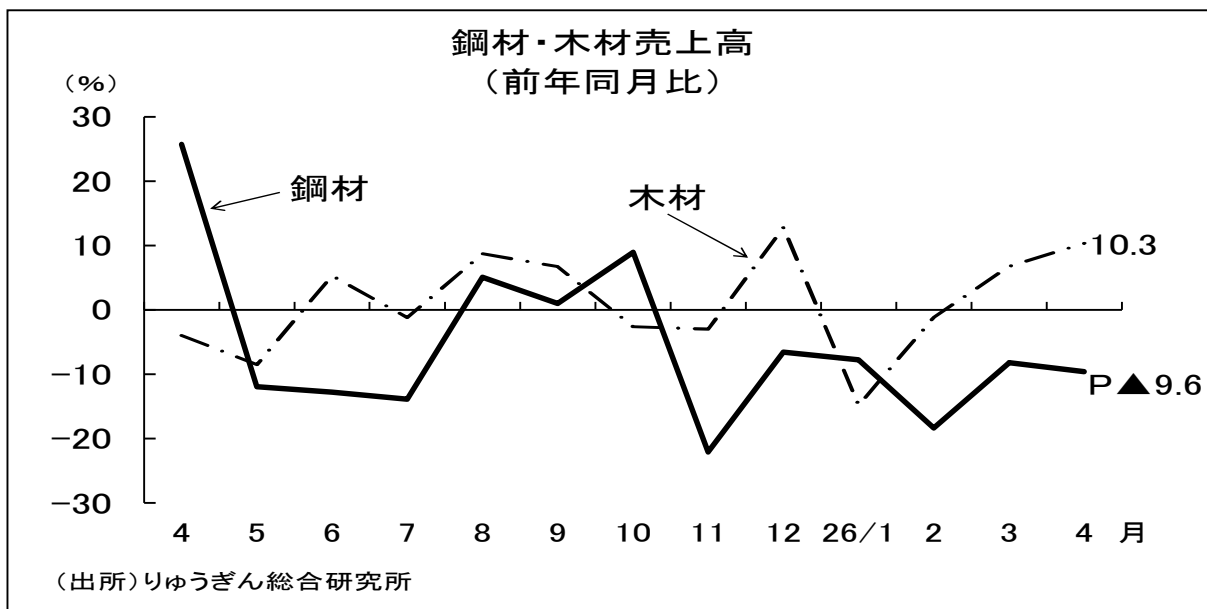
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比30.0%増と6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同1,489.4%増と2カ月ぶりに増加し、民間工事は同41.5%減と2カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメント、生コンともに10カ月連続で減少



- ・セメント出荷量は5万8,607トンとなり、前年同月比8.5%減と10カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は9万12 m³で同12.3%減と10カ月連続で前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、公共施設向けなどが増加し、学校関連向け、防衛省向けなどが減少した。民間工事では、マンション向けなどが増加し、個人住宅向け、共同住宅向けなどが減少した。

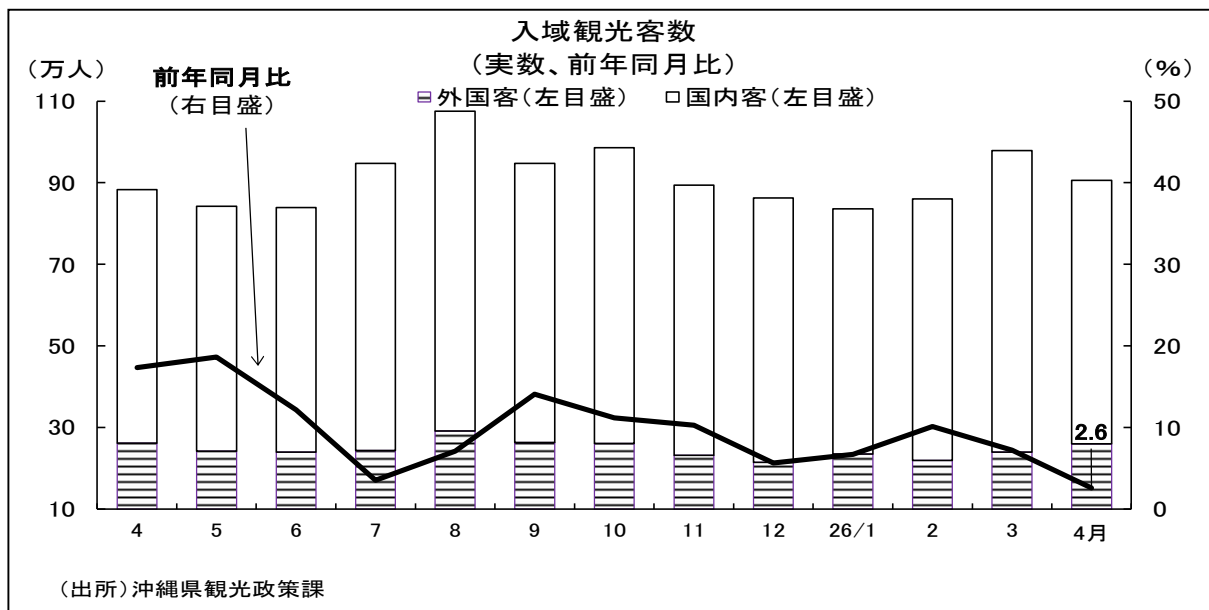
(6) 鋼材・木材：鋼材は6カ月連続で減少、木材は2カ月連続で増加



- ・鋼材売上高（速報値）は、鋼材価格が下落したことなどから前年同月比9.6%減と6カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、木材価格が上昇したことなどから同10.3%増と2カ月連続で前年を上回った。

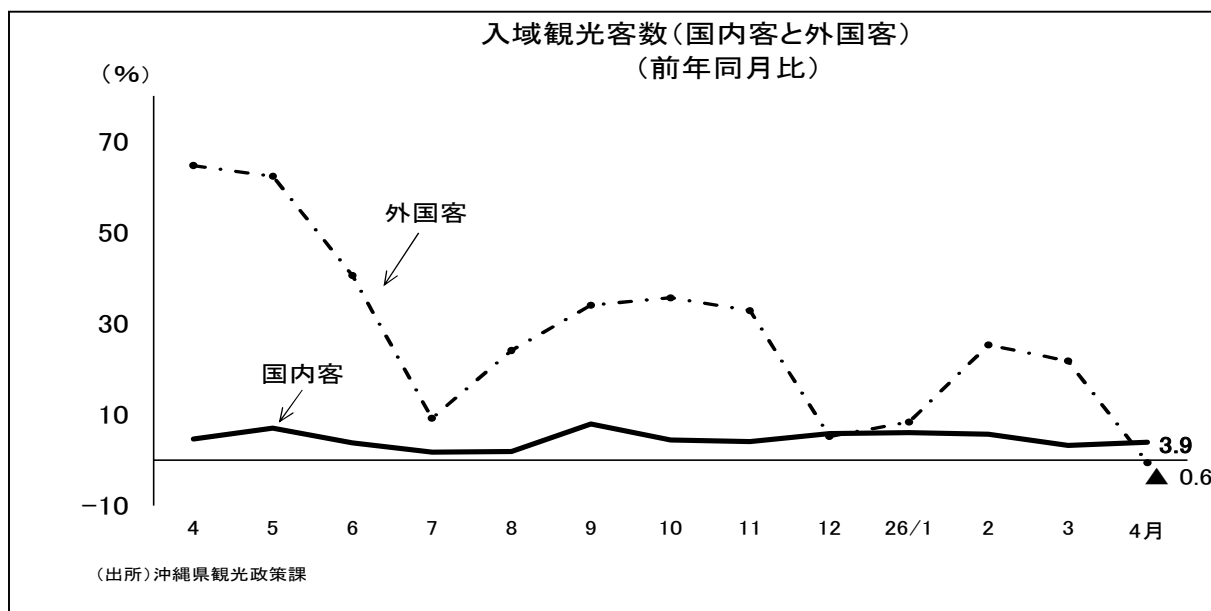
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：53 カ月連続で増加



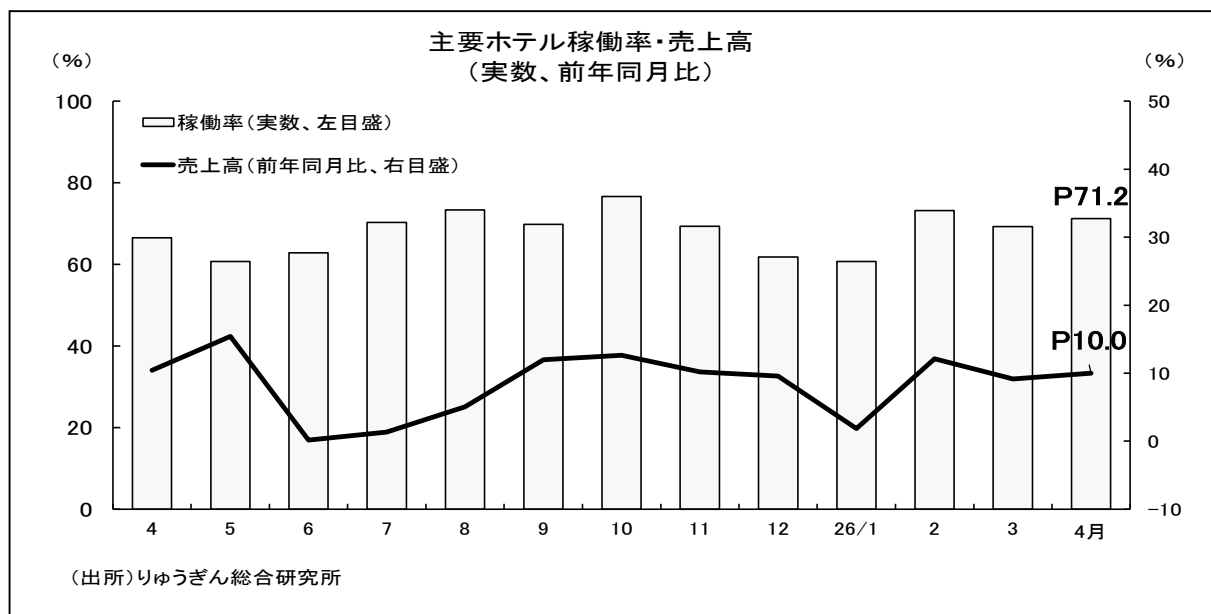
- ・ 入域観光客数は、90万5,500人（前年同月比2.6%増）となり、53カ月連続で前年を上回った。
- ・ 路線別では、空路は83万2,100人（同5.8%増）となり53カ月連続で前年を上回った。海路は7万3,400人（同23.9%減）となり3カ月ぶりに前年を下回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は22カ月連続で増加、外国客は43カ月ぶりに減少



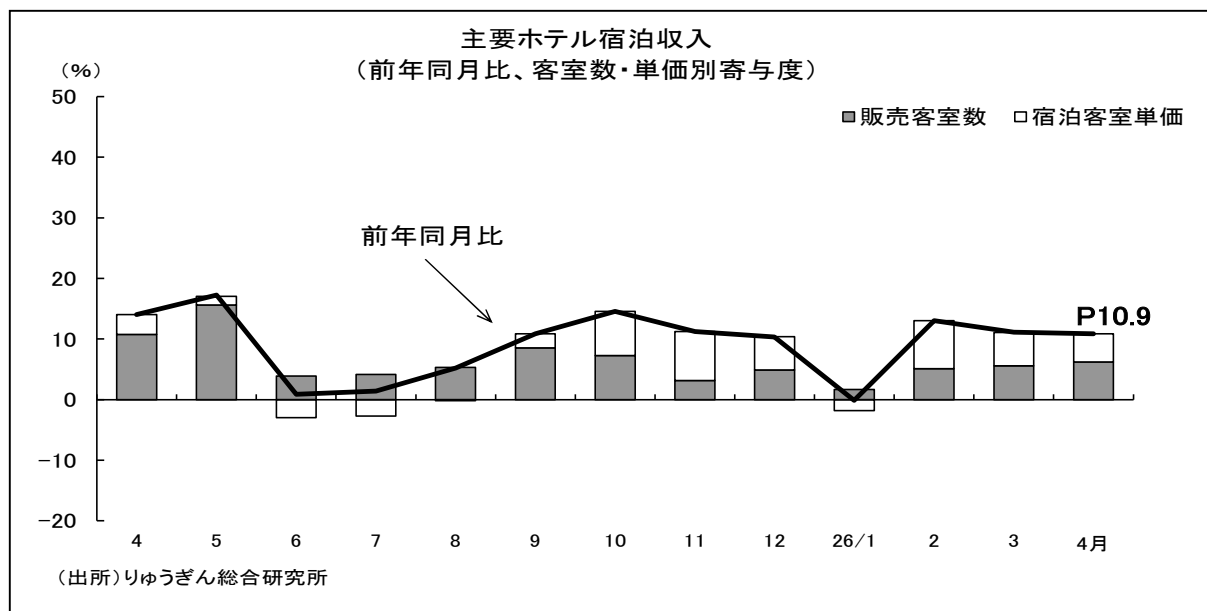
- ・ 国内客は、64万5,300人（前年同月比3.9%増）となり、22カ月連続で前年を上回った。外国客は26万200人（同0.6%減）となり、43カ月ぶりに減少した。
- ・ 4月は航空会社の増便があったことから、国内客は前年同月を上回った。クルーズ船の寄港キャンセルなどがあったことから、外国客は前年同月を下回った。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は25カ月連続で上昇、売上高は23カ月連続で増加



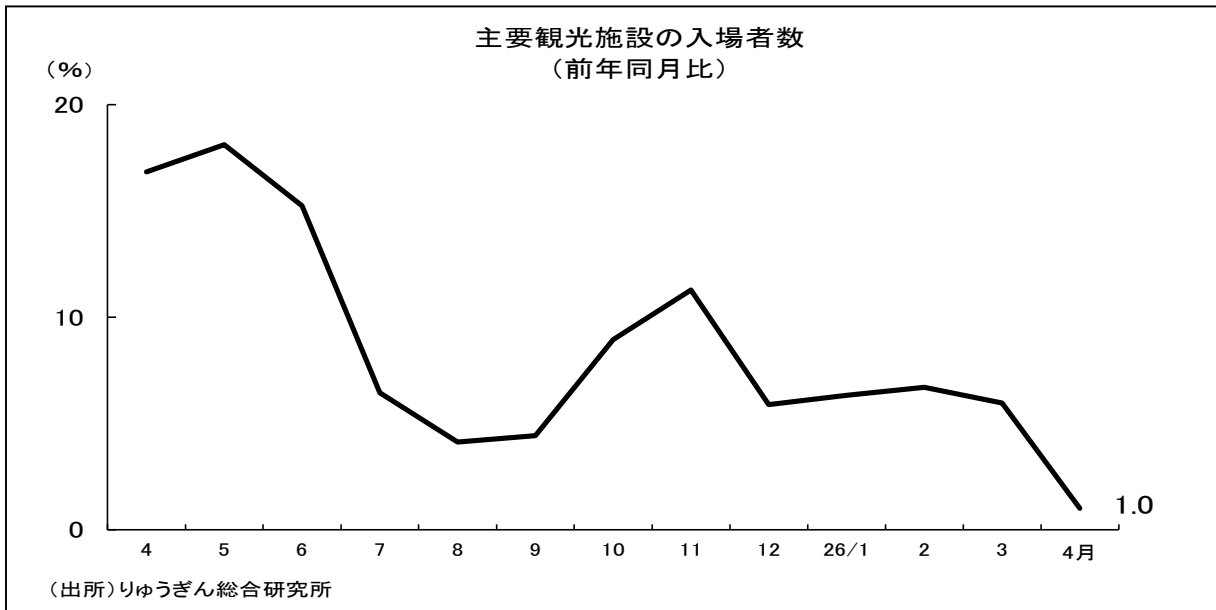
- ・ 主要ホテル(速報値)の客室稼働率は71.2%と前年同月差4.7%ポイント上昇し25カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比10.0%増となり、23カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は74.9%と同1.9%ポイント上昇し、4カ月連続で前年を上回り、売上高は同0.2%減と29カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ リゾート型ホテル(速報値)の客室稼働率は69.8%と同8.1%ポイント上昇し、25カ月連続で前年を上回り、売上高は同12.1%増と10カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：3カ月連続で増加



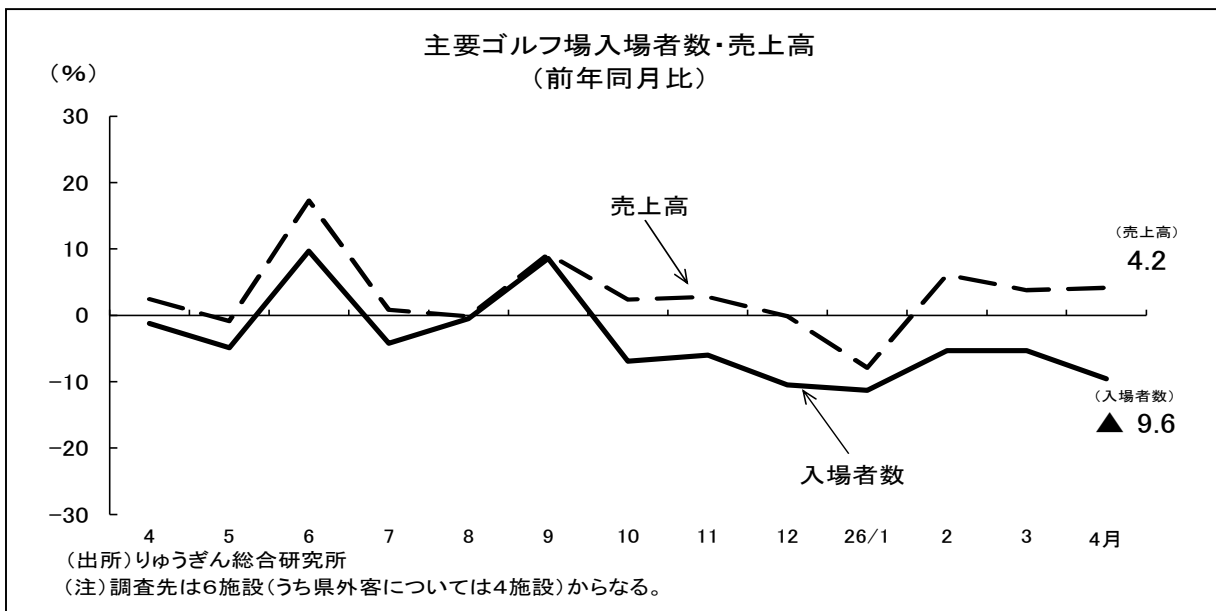
- ・ 主要ホテル(速報値)の売上高のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)が増加、宿泊客室単価(価格要因)も上昇し、前年同月比10.9%増と、3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同5.6%増となり28カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル(速報値)は、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同12.0%増となり3カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：50 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 1.0%増と 50 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 修学旅行受入の減少がみられたものの、団体・個人客が好調に推移した。

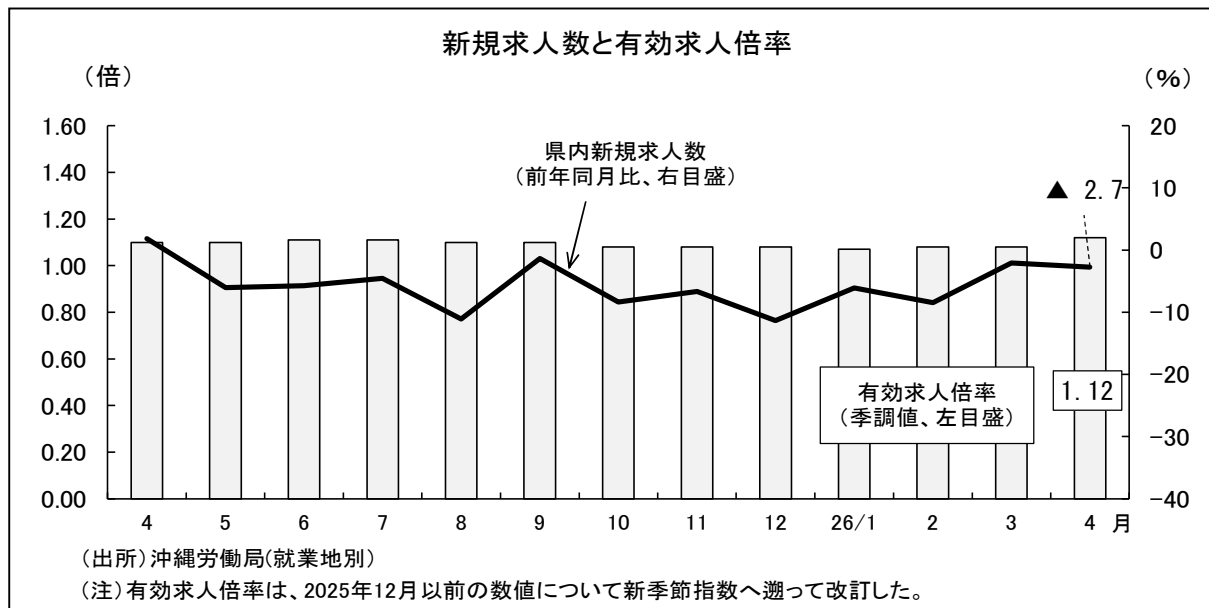
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は7 カ月連続で減少、売上高は3 カ月連続で増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 9.6%減と 7 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 県内客は 7 カ月連続で前年を下回り、県外客は 4 カ月連続で前年を下回った。売上高は同 4.2%増と 3 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 県内客を中心に入場者数は減少したものの、単価の上昇により売上高は増加した。

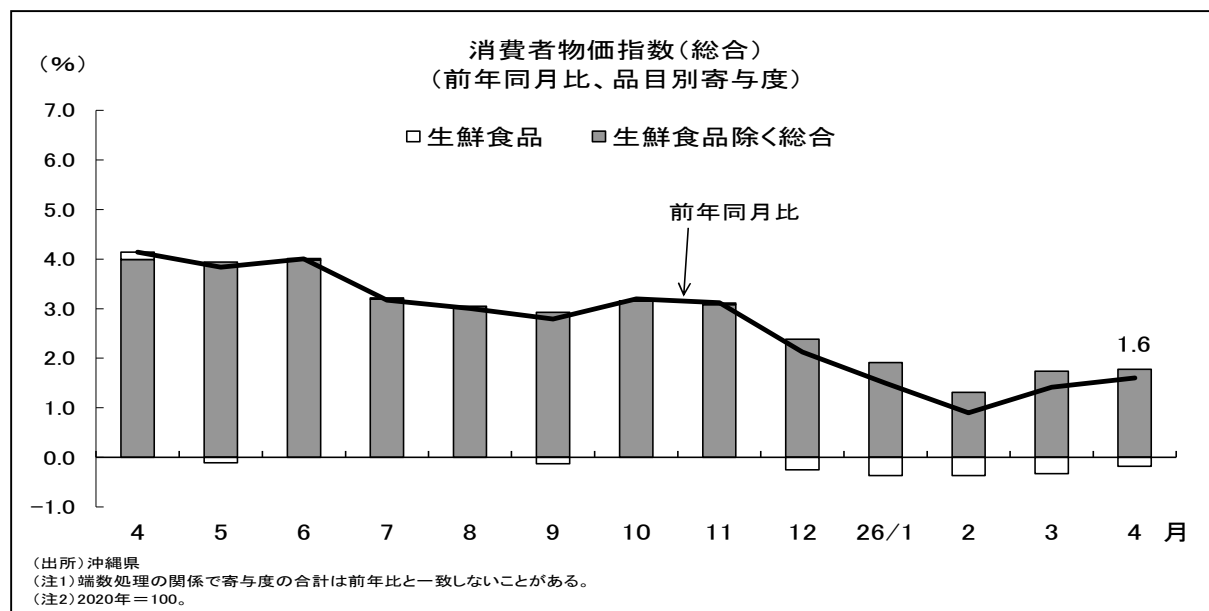
4. その他

(1) 雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は上昇



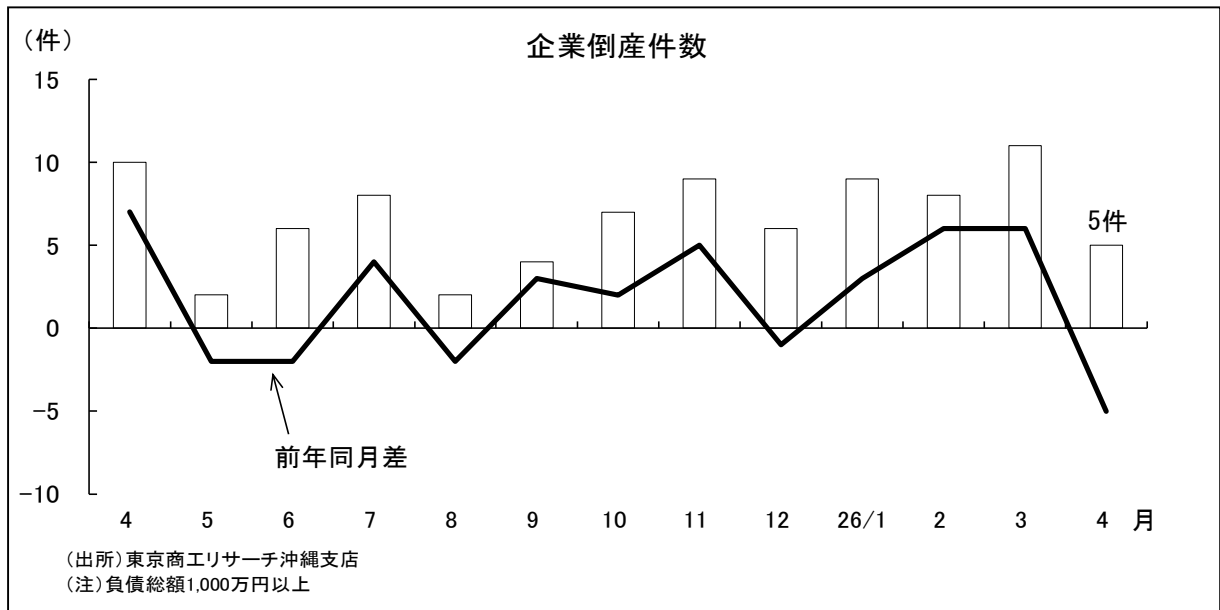
- 新規求人数は、前年同月比2.7%減となり12カ月連続で前年を下回った。産業別にみると、卸売業・小売業や情報通信業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は1.12倍で、前月より0.04ポイント上昇した。
- 労働力人口は81万2,000人で同1.4%増となり、就業者数は78万1,000人で同1.7%増となった。完全失業者数は3万1,000人で同6.1%減となり、完全失業率(季調値)は3.2%と、前月から0.2ポイント上昇した。

(2) 消費者物価指数：56カ月連続で上昇



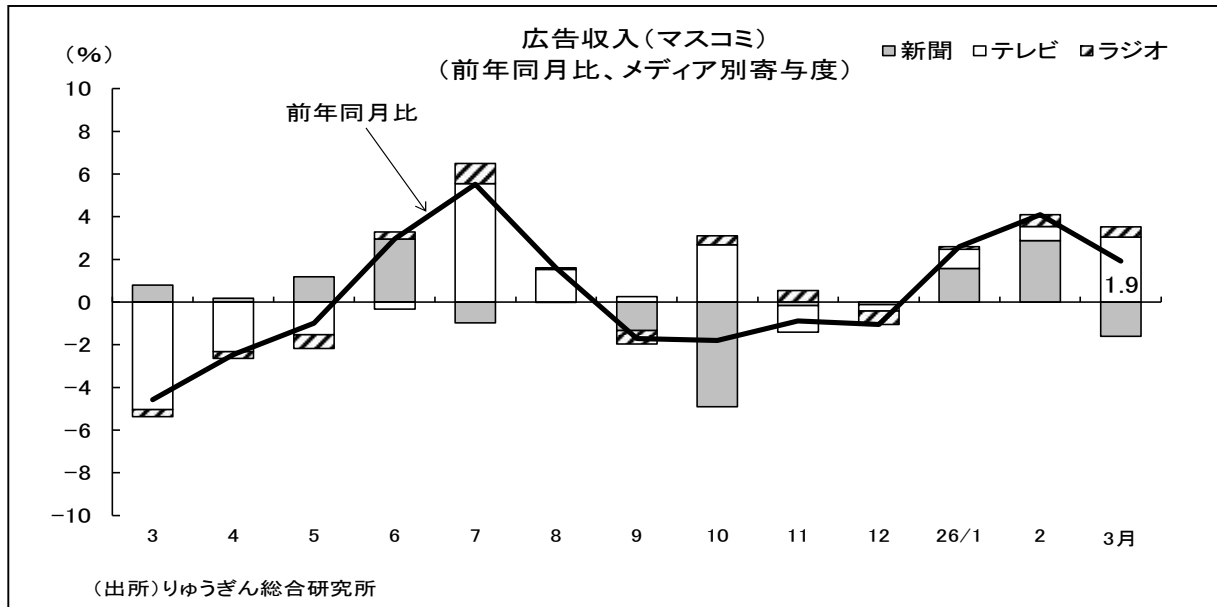
- 消費者物価指数は、前年同月比1.6%の上昇となり、56カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同1.9%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同2.6%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、住居などで上昇し、光熱・水道などで下落した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- 倒産件数は5件で前年同月から5件減少した。業種別では、卸売業が1件、情報通信業が1件、サービス業他が3件となった。
- 負債総額は1億6,100万円で、前年同月比69.9%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：3カ月連続で上昇



- 広告収入（マスコミ：3月）は、前年同月比1.9%増と3カ月連続で前年を上回った。
- 春休みシーズンに向けたレジャー関連の広告が順調だった。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2025	0.8	3.7	4.2	▲ 1.3	10.3	0.9	472,857	16.6	1,167	▲ 3.2
2025 3	▲ 0.3	4.4	5.1	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	4.2	4.1	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	5.1	4.9	14.2	9.6	3.7	21,968	▲ 2.0	109	▲ 27.5
6	▲ 1.9	4.3	5.2	▲ 15.0	20.5	12.2	26,348	▲ 22.7	73	▲ 45.2
7	1.8	▲ 0.3	0.6	▲ 17.4	5.6	▲ 0.9	42,763	▲ 5.6	80	▲ 19.2
8	10.5	▲ 3.7	▲ 2.8	2.8	▲ 4.7	▲ 3.0	54,259	130.0	91	▲ 5.5
9	0.7	11.4	12.3	1.0	▲ 6.0	4.7	31,280	▲ 5.2	90	5.1
10	▲ 4.3	6.8	7.1	4.7	▲ 1.2	▲ 0.3	44,324	80.0	154	64.3
11	▲ 3.9	6.4	6.2	1.0	▲ 7.3	▲ 8.8	27,096	1.6	89	19.1
12	▲ 9.0	2.4	2.3	▲ 4.6	▲ 5.7	2.2	15,752	56.6	108	▲ 0.4
2026 1	▲ 0.5	4.9	5.2	9.2	▲ 3.3	3.4	13,220	▲ 37.0	123	71.1
2	0.7	5.2	5.5	3.5	▲ 6.4	1.3	96,827	271.5	90	41.2
3	▲ 1.7	5.2	6.1	1.2	0.9	3.0	117,776	▲ 17.0	172	41.8
4	0.1	4.8	6.1	-	3.3	▲ 3.0	20,043	▲ 0.2	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ			経済産業省	自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2025	9,916	2.2	▲ 23.7	▲ 3.4	▲ 4.2	▲ 2.5	▲ 1.3	-	-	-
2025 3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	406	▲ 49.5	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
6	644	▲ 33.1	▲ 46.4	6.8	7.1	▲ 12.8	5.3	280.3	▲ 6.9	▲ 6.9
7	781	▲ 18.2	▲ 43.3	▲ 8.1	▲ 10.9	▲ 13.9	▲ 1.2	254.8	▲ 10.3	▲ 9.2
8	816	9.7	▲ 73.2	▲ 6.4	▲ 7.8	5.1	8.7	254.9	▲ 10.3	▲ 9.2
9	1,055	30.2	▲ 59.5	▲ 13.3	▲ 4.7	1.0	6.7	256.0	0.0	▲ 6.9
10	1,035	14.2	▲ 32.2	▲ 13.7	▲ 7.6	9.0	▲ 2.6	246.4	▲ 6.9	▲ 2.3
11	875	14.2	154.2	▲ 13.6	▲ 19.7	▲ 22.1	▲ 3.0	250.8	0.0	▲ 5.8
12	988	15.2	56.2	▲ 7.2	▲ 7.8	▲ 6.6	12.8	264.3	▲ 3.4	▲ 3.4
2026 1	650	24.5	111.5	▲ 5.8	▲ 8.3	▲ 7.8	▲ 14.8	277.4	▲ 17.2	▲ 6.9
2	915	51.2	242.2	▲ 11.8	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 1.2	306.7	▲ 6.9	▲ 10.3
3	1,177	1.9	15.3	▲ 8.6	▲ 9.2	▲ 8.2	6.8	296.9	▲ 10.3	▲ 11.5
4	-	-	30.0	▲ 8.5	▲ 12.3	P▲ 9.6	10.3	298.9	0.0	▲ 5.7
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2025	10,755.8	11.2	2,835.5	32.9	73.7	60.5	15.0	1.4	12.3	P▲1.8
2025 3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲6.2
4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	69.0	55.5	31.4	9.5	18.1	P▲4.9
6	838.9	12.2	239.5	40.6	71.9	59.1	9.2	▲2.6	15.2	P9.7
7	947.8	3.5	243.6	9.2	72.5	68.1	9.8	0.3	6.4	P▲4.2
8	1,075.0	7.1	291.6	24.1	75.6	71.1	13.5	4.1	3.9	P▲0.5
9	948.0	14.1	263.1	34.0	70.4	68.1	15.4	11.4	4.4	P8.6
10	985.8	11.2	260.9	35.7	76.2	73.0	12.4	11.3	8.9	P▲6.9
11	894.5	10.3	231.7	32.9	73.3	66.4	5.8	11.1	11.3	P▲6.0
12	862.6	5.7	214.7	5.2	70.5	57.2	7.3	10.1	5.4	P▲0.1
2026 1	835.8	6.7	234.7	8.4	72.3	56.1	3.3	1.5	6.4	P▲11.3
2	860.2	10.1	219.4	25.3	85.2	68.3	9.9	12.7	6.7	P▲5.3
3	978.3	7.2	239.9	21.8	79.1	65.5	4.8	10.2	6.0	P▲5.3
4	905.5	2.6	260.2	▲0.6	74.9	P69.8	▲0.2	P12.1	1.0	▲9.6
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	0.0
2025	67	5,140	▲ 6.2	3.6	3.1	0.1	1.09	▲ 6.5	0.0
2025 3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲ 10.2	3.1
4	10	535	184.6	4.1	3.5	0.7	1.10	1.9	▲ 2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.10	▲ 6.0	▲1.0
6	6	653	▲ 65.2	4.0	3.0	0.4	1.11	▲ 5.7	3.0
7	8	891	▲ 18.9	3.2	3.1	▲ 0.5	1.11	▲ 4.5	5.5
8	2	200	▲ 0.5	3.0	2.7	1.8	1.10	▲ 11.1	1.6
9	4	483	762.5	2.8	3.3	0.4	1.10	▲ 1.3	▲ 1.7
10	7	328	▲ 39.0	3.2	3.6	▲ 0.3	1.08	▲ 8.3	▲ 1.8
11	9	755	263.0	3.1	3.6	▲ 2.4	1.08	▲ 6.6	▲ 0.9
12	6	265	▲ 46.0	2.1	3.1	▲ 1.5	1.08	▲ 11.3	▲1.1
2026 1	9	1,049	212.2	1.5	3.1	0.4	1.07	▲ 6.1	2.6
2	8	1,792	1,728.6	0.9	3.3	2.0	1.08	▲ 8.5	4.1
3	11	1,390	339.8	1.4	3.0	3.3	1.08	▲ 2.1	1.9
4	5	161	▲ 69.9	1.6	3.2	1.7	1.12	▲ 2.7	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店		県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ		

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2025年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
2025FY	3,150	5,162	▲ 1,221	-	63,988	1.7	63,171	1.7	47,212	4.4
2025 3	252	390	▲ 137	1.487	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	191	668	▲ 476	1.537	64,061	1.5	63,253	1.5	44,954	5.3
6	236	396	▲ 160	1.599	64,224	1.0	63,507	1.1	45,091	5.2
7	249	423	▲ 174	1.605	63,834	0.6	62,974	0.5	45,113	4.5
8	228	339	▲ 110	1.603	64,247	0.9	63,391	0.9	45,357	4.4
9	212	414	▲ 202	1.602	63,823	0.8	63,032	0.7	45,772	5.1
10	270	491	▲ 221	1.602	63,471	0.8	62,604	0.8	45,807	5.2
11	288	310	▲ 21	1.601	64,204	1.1	63,405	1.1	46,072	5.0
12	573	348	225	1.601	64,138	0.8	63,342	0.8	46,555	6.0
2026 1	159	609	▲450	1.604	63,441	1.2	62,547	1.1	46,586	5.7
2	223	400	▲177	1.706	63,555	1.5	62,800	1.5	46,800	5.0
3	271	431	▲160	-	63,988	1.7	63,171	1.7	47,212	4.4
4	-	-	-	-	-	-	64,700	2.0	46,795	4.3
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	41,614	304,121
2025FY	9,641	▲ 1.9	2,522	▲ 6.4	-	-	30,068	334,342
2025 3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	91.1	0.4	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	91.1	4.6	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	90.9	▲ 0.7	1,841	37,615
6	9,674	▲ 3.4	2,618	▲ 7.9	91.1	0.1	5,718	60,742
7	9,587	▲ 3.2	2,596	▲ 8.3	91.0	▲ 2.8	3,056	24,731
8	9,566	▲ 3.1	2,585	▲ 8.0	90.6	▲ 3.5	1,703	15,200
9	9,495	▲ 3.2	2,569	▲ 8.0	90.0	▲ 1.6	2,363	21,183
10	9,472	▲ 2.1	2,551	▲ 8.5	86.2	▲ 7.2	2,945	14,119
11	9,442	▲ 2.0	2,538	▲ 8.7	82.6	▲ 10.6	1,965	28,654
12	9,379	▲ 2.3	2,535	▲ 8.2	93.8	1.1	2,325	25,455
2026 1	9,688	1.3	2,529	▲ 7.9	92.7	0.0	2,369	37,243
2	9,644	1.4	2,521	▲ 7.2	79.9	▲0.7	2,091	16,145
3	9,641	▲ 1.9	2,522	▲ 6.4	-	-	1,717	31,964
4	9,609	▲ 1.6	2,501	▲ 6.0	-	-	2,271	26,580
出所	沖縄振興開発金融公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。